

7.16 中越沖地震 被災者支援活動報告

このたびの中越沖地震にて、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

長岡三古老人福祉会では3年前の中越大震災での経験を生かし、法人施設はもとより、柏崎市・刈羽村へ職員を派遣し支援活動を行って参りました。被災地は徐々に落ち着きを見せておりますが、甚大な被害を受けられた方々も多数いらっしゃいました。1日も早い復興をお祈り申し上げます。

みしま園・横山げやき苑・桐原の郷・中之島
縄文の杜関原・グリーンヒル与板・てらどまり
緊急受入実施

震災当日は3年前の悪夢の再来と思われ、各施設にてショートステイの延長・追加が殺到。特に海岸沿いの寺泊から出雲崎にかけての被災者の多くが、桐原の郷・老健てらどまりに避難される状況でした。17日からは、中越大震災時と同様に窓口を一本化し、特に被害の大きな柏崎市・刈羽村からの被災高齢者の受入れを実施し致しました。9月までに延べ1,000名を超える受入数となっております。

〈各施設での受入実人数〉	
みしま園	5名
横山げやき苑	5名
桐原の郷	18名
縄文の杜関原	5名
中之島	11名
グリーンヒル与板	6名
てらどまり	21名

縄文の杜関原 無料入浴実施

高齢者以外も利用できる入浴施設を持つ縄文の杜関原にて、被災者を対象とした無料入浴を実施。8月31日までに延べ3,299名の利用があり、特に地理的に近い刈羽村の方々が多数ご利用になりました。また、同施設に法人内のバス・リフト車両を集め、無料送迎も実施。刈羽村の福祉避難所へは7月19日から22日間往復送迎を実施いたしました。



ケアハウス福戸 入浴設備貸出し

刈羽村にある小規模多機能施設「ももの木」様ではライフラインが途絶え、浴室が使用できない状況であったため、ケアハウス福戸にて入浴設備を貸出し、要介護高齢者18名の方よりご利用いただきました。また、刈羽村福祉避難所からも17名の利用があり、当地までの送迎も実施いたしました。



縄文の杜関原 老施協県外協力派遣スタッフ 宿所提供・被災地避難所へ送迎

県老施協では、長期化する支援活動において介護スタッフの確保の為、県内の施設ばかりでなく、県外の協会員にも応援を要請。交通の便を考え県外スタッフの集合場所を長岡とし、被災地へ向かう拠点として縄文の杜関原を宿所に利用することとなりました。7月26日より、千葉・茨城・栃木・埼玉・東京・群馬・神奈川・横浜市・川崎市・山梨・静岡・石川・山形・富山より、実人数157名、活動期間36日間で延べ687名の県外スタッフが同施設を基点として被災地の支援活動へと当たりました。



法人職員派遣 柏崎小学校福祉避難所

新潟県及び柏崎市からの要請を受け、県老施協が被災中心地にある柏崎小学校福祉避難所の開設・運営を行うこととなりました。当法人では同協会からの要請を受け、その舵取り役となるコーディネーターと介護スタッフの派遣を実施。介護スタッフは県内外の施設職員と協同での活動となりました。同福祉避難所は最多時32名の要介護避難者があり、8月31日まで44日間の活動で延べ120名の職員派遣を行いました。



法人職員派遣 刈羽村デイサービスセンターきらら刈羽村老人福祉センター福祉避難所

刈羽村デイサービスセンター「きらら」からの応援要請を受け、県老施協を通じて7月19日より同施設への職員派遣を行いました。当初はライフラインの寸断から、縄文の杜関原・福戸での入浴支援との連携を図り、被災者の送迎支援も実施。8月1日からは刈羽村老人福祉センターの福祉避難所へ場所を移し、県外スタッフとの協力のもと、8月20日までに延べ161名の職員派遣を行いました。

